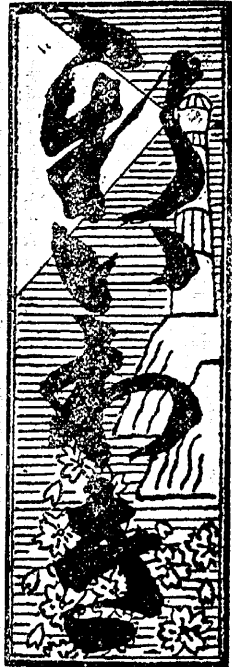


刊夕 日七月七



日曜金... 常識講座... 我々の産米は内、鮮台を合せ...

常識講座... 我々の産米は内、鮮台を合せ...

### 石城麥作の水害減収 損害額五十五萬圓余

#### 大麥の減収三萬一千五百石 小麥では七千二百石

去る六月末日に於ける石城地方の農作物被害は合せて悲觀的なもので全損害額は相當の巨額に上ると見られてゐる。中にも當り悔めなものは恰も收穫期であつた麥の被害で大麥、小麥共に刈取つて土乾中のものゝ流失及び打撃、降雨のため架け乾中の發芽から更に立毛のまゝの發芽が殆んど全般的で甚だしきは新芽の二、三寸に伸長せるものさへあり之れが對應處置には郡農會その他の指導當局も全く手を餘し發芽の長きものは馬糞と云はれてゐる。

### 桶賣の駒糶成績 相場は昨年の三倍

#### 牝の一等は六百十圓 牡は四百二十二圓

石城産馬の川前村駒賣市場は本月四日から六日に至る三日間で駒糶を終了したが相場は三頭の不參で百三十頭との總價格三萬六千二百三十八圓に達し最高六百十圓最低五十二圓平均二百七十八圓七十五錢に當り前年と比較すると頭數に於て二十頭を減じたが總額では二萬二千八百八十六圓を増加し昨年の最高牝二百三十一圓、牡百六十八圓、平均八

### 片倉工場の 神社参拜

軍事後援會へ 金五十圓寄附 平市の片倉製糸會社では今日の日支那事變一周年記念に於

### 小田鑛の労働者は 日曹と古河炭礦へ

#### 七萬圓の仕拂は十一日

石城郡好間村開田川(小田)炭鑛の浸水休山は既報の如く災後の處理に忙殺中であるが労働者八百名の解雇を今七日午後一時發表される筈である其の内容は二百五十名を残して新坑の開鑿に振り向け五百五十名同村の日曹と古河兩鑛に移すことになつた此の解雇者に対する手当、積立金、賃銀は七萬圓に上るといふ如く目下清算を急いでゐるのである十一日全部支拂れる筈であつて労働者五百五十名を引受くる前記日曹、古河坑には鑛屋の設備が出来るまで住家を無料で貸付すると

### 校舎と講堂の 竣功検査

平第四小學校の校舎増築と講堂新築に一萬二千六百九十圓

### 磐中また献金

出来るであらうと 散髪で得たる該當金を恤兵獻金なしつゝあるが今七日また金十圓也の献金をなす

### 戦地一郷土の名譽の爲め 益々奮闘必ず戦功の便

平市久保町出身 河原 弘 謹啓、初夏の候皆々様には其の後益々御清榮の段奉賀候、陳者私儀休暇歸省の際には種々御配慮にあつかりまつさへ御尊重なる慰問品を賜はり厚く御禮申上候、早速御禮申述べべき處何かと取柄次第に延引致し候段不惡御禮申上候、尙ほ今回報れば郷里の皆々様には私共の武運長久を毎日神佛に祈願下され居る由誠に有難く感激致し居り候、吾れ等國家のため働く者も斯く皆様に御熱誠なる御支援により何等後顧に憂ひなく活躍出来る次第にて斯て統帥後進一體となることにより大日本帝國の手戟の後まで泰山の安きに置き得るものと思維致す次第に御座候、私共は目下〇地在泊中にて日夜訓練に次ぐ訓練をもつて出動命令を鶴首致

### 泥と汗とに活躍

平市道匠小路出身 金成章 謹啓、初夏の候皆々様には其の後益々御清榮の段奉賀候、陳者私儀休暇歸省の際には種々御配慮にあつかりまつさへ御尊重なる慰問品を賜はり厚く御禮申上候、早速御禮申述べべき處何かと取柄次第に延引致し候段不惡御禮申上候、尙ほ今回報れば郷里の皆々様には私共の武運長久を毎日神佛に祈願下され居る由誠に有難く感激致し居り候、吾れ等國家のため働く者も斯く皆様に御熱誠なる御支援により何等後顧に憂ひなく活躍出来る次第にて斯て統帥後進一體となることにより大日本帝國の手戟の後まで泰山の安きに置き得るものと思維致す次第に御座候、私共は目下〇地在泊中にて日夜訓練に次ぐ訓練をもつて出動命令を鶴首致

### サンマーニユース

松月堂のアイスクリーム 高雅な味覺 豊富なる榮養 松月のアイスクリームこそ近代人の要求にピッタリ合つた夏季嗜好品なのです、御遠方御持参にホームバック御利用下さい、銀座通り 松月堂 電話 二〇六

### 中支視察旅行記

(5) 駒木根忠三氏より 上海(十八日)皇軍慰問、此日上陸の翌日午前九時半より私共は本視察旅行最初の大活動にうつりました、自動車數台に慰問品を満載して上海駐屯の左記各部隊を歴訪し慰問の旨を述べ慰問品を渡して皇軍慰問團としての第一の使命を無事に果しました、(一)〇〇司令部

川又商店員一同の恤兵献金 平市白銀町の川又商店では商品の荷籠その他を店員一同の處分に任せてあるが其れによつて得たる金二十圓を今七日恤兵献金を市役所に寄託

賞金を献金 石城郡川前村の猪狩喜好氏は柳賣の駒賣市場で牝の一等六百十圓の優秀馬を上げ同市場から賞金を授與されたが同賞金を共々、恤兵献金を産馬組合へ寄託した

青果市況 馬鈴薯(貫) 高値 安値 玉(貫) 〇〇〇 〇〇〇 胡(貫) 〇〇〇 〇〇〇 茄子(貫) 〇〇〇 〇〇〇 梅(貫) 〇〇〇 〇〇〇

と〇〇隊本部とに献金し殊の外深い感謝の辭を受けて大に面目を施しました、上海には共同租界と佛租界の二つがあり其の共同租界の中に日本英國獨逸と云ふ風に分れてゐてそれがまた各對立して居り、就中日本と英國の間は兩國の兵隊が睨み合つて居ります、武装した兵隊は兩方共絶對に入れない、私腹で忍び入るより外ないがそれで國防色の服を着てゐる者は一番狙はれると云ふた様な状態であり、有名なゲーデンブリッチは共同租界と佛租界の境界點に當つてゐる、其の中央に正確に二十歩の間隔を置いて日本の歩哨と佛國の歩哨とが相對して居ります、しかも佛租界の方に土囊を山の様に積み上げて居り、如何にも警備を嚴にして居るし日本側は鐵條網をめぐらし、あり何となく無氣味な空気を漂はせて居ります、

# 川芹の栽培方法

## 雪國の副業に面 白い収穫も相當

山形縣米澤市外藤井村の字坊中町には舊幕時代から文餘の積雪の中を流れる川の中で「川芹」の栽培が行はれてゐたが近年は冬期間の高級料理材料として珍重されるに至り需要が激増して來たので栽培方法の簡便なことに經費の僅少な點から雪國地方に於ける農村婦女の副業として好適であり副業の變り種として期待されてゐる。値段は一貫目一圓五十錢から二圓ぐらゐで巾三尺に長さ一町の川の中から約三百圓の収穫を得てゐるのであるが現在行はれてゐる栽培の方法は普通の川芹と苗代芹との二種あるが此の芹の特徵とされてゐるものは「ゆでても香氣を少しも減ぜずまた食物と同じい香味をもちてゐることである。栽培の方法は次で如くである。

▲夏土用中に普通の芹を採取して約一週間庭に包んで枯らしたる後、九月下旬濕田の苗代に移植する。後一週間水を乾せば芽は發芽しその時再び水を苗代に入れ十一月下旬再び畑中に入れて、十二月月上旬降雪期前に清い流れの川底を砂利で塵み其の上に移植すれば二月から三月中旬に約六、七寸に伸長し収穫する。

▲苗代芽、濕田苗代に移植するまでは直接苗代に水を引いて苗代の中で發育させるのである(終り)

## 藤沼醫院

平市紺屋町 電五〇七

婦人科 産科 院長 木村寅次郎  
醫學博士 内木宗八  
藥劑師 大岩俊雄

平市新川町九一  
入院隨意 病室完備  
**木村病院**  
電話一六四番

國民精神總動員  
日本國民必見の書……  
内閣情報部發行  
**寫眞週報**  
1部10セン  
お取次致して居ります  
平二 西村屋藥局 電三

## お醤油は ヤマフル

醬油 味噌  
たひら正宗  
經節食料品

山崎合名會社  
電話一〇七〇番  
本店 二七〇番

## デリーサービス

特にマルトモのランチは……  
材料のよきかきを願つて居る爲め其の節々のおいしい新鮮な物を進め出来まますので御客様からいつも好評を蒙り居ります。

御来店御名止りの時、御來客御用仕出し等絶へて御値段を御示し下さつておまかせ願へますれば季節の調材料で美味快速なものを調理進上出来まますので之また非常に御好評を御座います。

RESTAURANT MARUTOMO  
**堂食モトルマ**  
平市 車場通  
電話 二三三

## 中野齒科醫院

平市田町 (松月堂向ひ)  
院長 中野 誠  
醫學博士 西川 誠  
電話五〇九番

目科療診  
一、齒科 一般  
保存科、補綴科、鑲齒架工科、齒列矯正科、小兒齒科、歯槽膿漏科、レントゲン科  
一、口腔 外科  
一、レントゲン科

## 高橋屋

質太高之  
價廉物美  
良品廉價  
藥店

今般副院長として高橋俊幸氏を招聘し「内臓外科 一般外科 皮膚泌尿器科」の診療に従事せしむ

**平病院** (平市元共濟病院跡)  
院長 醫學博士 鈴木定藏  
電話六四一番

今般副院長として高橋俊幸氏を招聘し「内臓外科 一般外科 皮膚泌尿器科」の診療に従事せしむ

**平病院** (平市元共濟病院跡)  
院長 醫學博士 鈴木定藏  
電話六四一番

内臓外科 部長 鈴木定藏  
一般外科 部長 佐藤幾要司  
皮膚泌尿器科 部長 高橋俊幸  
レントゲン科 部長 鈴木元定  
物理療法科 部長 古川元雄  
藥劑科 部長 吉本孝平

診療時間 毎日午前八時より午後九時まで  
夜間診療に従事す(急患は此の限にあらす)

## 北川外科

晝夜 診療  
〔血液検査毎日〕  
平市新川町二七(電四六四)  
イッテモ 醫學博士 北川芳夫  
入院デキマス 技師 三浦常保

外科一般 内臓外科  
レントゲン科 泌尿器科



モートル 變壓器 販賣、修理

社會資合 所工鉄藤佐  
町見月市平 (番二六三話電)

夏の子供帽 文字一麥

パラソル 二重張と晴雨兼用傘

ツルヤ 平電一四〇

新聞社 新いわき新聞社